

1 環境白書作成の趣旨

区では、環境宣言都市にふさわしい新宿区を築いていくため、平成15年度に「新宿区環境基本計画」を策定しました。

また、平成23年3月には、地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）にあたる「新宿区地球温暖化対策指針」を策定し、温暖化施策の一層の推進に努めてきました。

平成25年2月には、目指すべき環境都市像を「地域資源を活かし、区民・事業者・区が一体となつてつくる持続可能な環境都市・新宿」と設定した「第二次環境基本計画」を策定しました。

平成30年2月策定の「第三次環境基本計画」は、「第二次環境基本計画」の目指すべき環境都市像を継承しつつ、「新宿区地球温暖化対策指針」を統合し、区の温暖化対策を一本化することで総合的かつ効率的に推進できるようにしました。

また、個別目標ごとに、誰もがわかりやすく実践しやすい取組を設定し、区民・事業者・区の各主体が積極的に環境配慮行動に取り組むことができるようにしています。

この「環境白書」は、環境基本計画に実効性のあるものとするために、その進捗状況を点検・評価するものです。今回の環境白書は、令和2年度をその対象期間とし、第三次環境基本計画に添って点検・評価しました。

2 新宿区の概要

新宿区は元禄11年（1698年）、高遠藩主内藤家の屋敷地の一部を上地し、甲州街道の日本橋と高井戸宿との間に置かれた新しい宿場町「内藤新宿」として拓かれ、多くの人が行きかうまちとして発展してきました。

現在の新宿区は、昭和22年3月、旧四谷区・旧牛込区・旧淀橋区の3つの区の統合により発足し、進取の気性に溢れたまちとして多くの人を惹きつけ、人口約34万人の区民が暮らす交流生活都市となっています。

一日の乗降客数380万人を超える新宿駅をはじめ、高田馬場駅、四ツ谷駅、市ヶ谷駅、飯田橋駅など主要な交通結節点を抱え、昼間人口約78万人を擁する大都市として進化を続けています。

大型商業施設や映画館などの集客施設、ホテル、飲食店を含めたいわゆるビジターズ産業（集客産業）が盛んであり、国内外から多くの人々が訪れる国際観光都市です。これらビジターズ産業に加え、情報通信関連産業、専門・技術サービス業、地場産業である印刷・製本関連業や染色業など、様々な産業が集積しており、経済活動が活発に行われています。

また、新宿に縁のある文化人や、歴史的な建造物や史跡など、貴重な文化歴史資源が豊富なまちです。

文化芸術活動も盛んであり、まち全体がアートで彩られるイベントが行われるなど、伝統的な文化を守りながら、新たな文化を創造・発信するまちです。

生活の基盤となる商業施設や医療機関、大学等の教育機関などが高度に集積しています。一方で、閑静な住宅街もあり、みどり溢れる公園や広場、神田川や妙正寺川の水辺など、自然と調和した都市空間が広がる、やすらぎと潤いがあり、生活者にとって、利便性が高い暮らしやすいまちです。

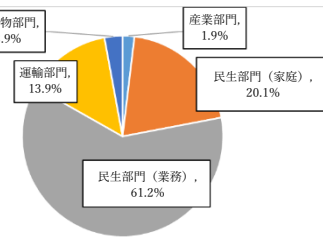
このように、新宿区は、高層ビル街や大規模繁華街、閑静な住宅街、歴史や伝統が色濃く残る街並み、地場産業の集積する地域、学生街、国際的な街など多彩な顔を持ち、住み、働き、学び、楽しみ、憩い、集うことのできるまちとして、バランスのよい都市機能が集積しています。

3 新宿区の環境の現状と課題

新宿区などの都市では、地球温暖化による気温上昇に、ヒートアイランド現象がもたらす気温上昇が加わり、温暖化が急速に進んでいます。以下に本区の特徴を示します。

区内のCO₂排出量

最新の実績値である平成30年度（2018年度）のCO₂排出量は270万2,000t-CO₂であり、前年から5万7,000t-CO₂減少しました。



図：部門別のCO₂排出量
平成30年度（2018年度）

部門別にみると、民生部門(業務)の排出量が多いことが特徴で、民生部門(家庭)を合わせた民生部門だけで、全体の約80%と非常に高い割合を占めています。

直近のデータを比較すると、民生部門(業務)の排出量は減少傾向にあります。区の目標達成に向けて、さらに削減対策に力を入れて取り組んでいく必要があります。

出典：オール東京62市区町村共同事業

「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」

気候

年平均気温は上昇傾向であり、真夏日日数や熱帯夜日数は増加傾向にあります。

業務ビル、住宅及びアスファルト等の人工被覆面からの熱負荷が大きく、ヒートアイランド現象が起きています。

土地利用や建築物

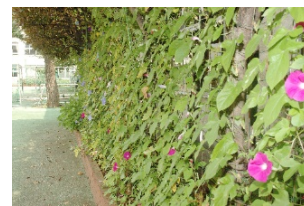
住宅や事務所建築物が約60%を占めており、中でも中高層建物の割合が高くなっています。

出典：新宿区の土地利用2018

新宿区の取組

区民に向けた取組では、みどりのカーテンの普及や省エネルギー機器の導入助成を、事業者に向けた取組では、省エネルギー診断などを行っています。

区の取組としては、区有施設への太陽光発電システムの導入や、新宿の森でのカーボン・オフセット事業等、様々な対策に取り組んでいます。



みどりのカーテン

人口・世帯

人口・世帯数ともに平成12年以降は概ね増加傾向にあります。

年齢別にみると、高齢世代は全国傾向と同様に増加しています。

また、単身世帯や外国人が多く、昼間人口が夜間人口の約2.3倍あり日中の業務活動が活発なことも特徴です。

出典：第45回新宿区の統計（令和3年）

産業構造

産業分類別にみると、第三次産業が90%以上を占めています。

区内には約3万2千の事業所があり、そのうち約70%は、従業員数10人未満の小規模事業所です。

出典：第45回新宿区の統計（令和3年）